

「千代明アート展」 展示作品の紹介



共生

スチールに水性シリコンペイント 2013年8月4日作
600×600×400cm

私達、人類が目指すところは「共生」です。
文化、習慣、言語、民族などの違いを超えて、
この地球上で暮らす全ての人類が末永く共に生
き、共に働き、幸せに暮らして行くためには、
地球というこの広大な宇宙の中の、とても小さ
な星で生かされている事を実感し、意識を変え
て行かなければ実現不可能です。

このワークショップで作り上げた作品は、ま
さに子どもから大人まで無心になって「色と遊
ぶ」ような、意識が解放された楽しさから生ま
れた作品です。皆さん本当にありがとうございました。
千代明

千代明アート展開催中（平成26年1月30日まで）

門別図書館郷土資料館

電話 01456-2-3746

あひる親子スキー教室

▼開講日 平成26年1月11日(土)、13日(祝・月)、25日(土)、26日(日)

▼時 間 10:00~12:00

最終日は早めに終わって、【スキーの集い】でゲームと豚汁を楽しみましょう！

▼場 所 日高国際スキー場（無料休憩所「やまびこハウス」にて受付・ゼッケン交付）

▼対象者 初心者・初級者（親子で参加できます） ※40名まで

▼受講料 1,000円 ※リフト券・傷害保険等は各自で負担してください。

▼講 師 日高町スキー協会会員及び日高スキー連盟指導員

レベルに合わせて指導します。※保護者のご協力があれば、より上達します。

▼申込み 平成26年1月8日（水）までに下記へ

日高町スキー協会事務局 今 秀記 メール：kon-h@m01.fitcall.net

電話 01457-6-3128 携帯 090-6265-1847

▼その他 今年度からジュニアバッジテストの受検については、各人での申込み及び受検料・公認料支払いとなりましたのでご注意ください。

今年度は1月18日（土）及び2月1日（土）の2回実施される予定ですが、詳しくは日高スキー連盟事務局（竹内 電話 080-1867-0912）までお問い合わせ願います。



主催 日高町スキー協会 / 後援 日高町体育協会



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第23号 2013.12.

『石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2013』開催しました。

博物館恒例！専門家集団が鑑定！11年連続開催の事業です。

11月16日に、『石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2013』を開催しました。

専門家が岩石や鉱物化石を鑑定し、鑑定書を発行する内容で、今年で11年連続11回目の開催で、人気の高い事業です。

例年通り、一人で10個以上の大量の岩石を持ち込み、鑑定士と岩石に関する話で盛り上がっていた参加者が見られました。また、「他の方が持ってくる変わった石を見るのも楽しい」という参加者もみられ、岩石や化石・鉱物の好きな方たちのコミュニティの場としても活用されているようです。この鑑定会は、来年も引き続き開催する予定です。日程等が決定しましたら、広報やホームページ等でお知らせいたします。



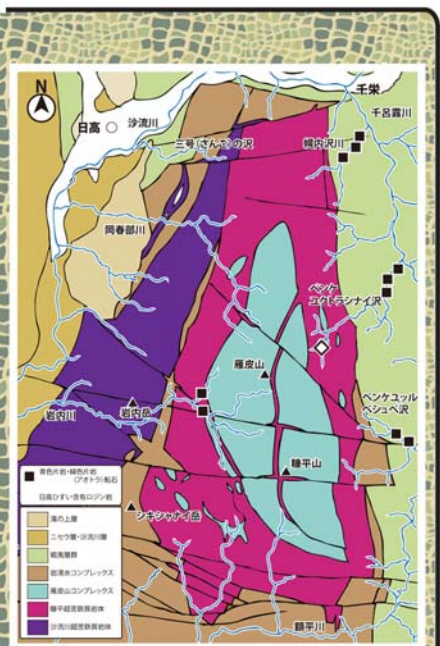
蛇紋岩 ～ 今年の干支の石 ～ 5

蛇紋岩は、恵みを与える反面、ちょっと迷惑になることもあります。岩石としては、やわらかく風化しやすいため、地すべりを起しやすい特徴もあります。また、トンネル工事のときなどは、掘った穴が変形しやすいなど、蛇紋岩は大変迷惑がられていることもあります。

ところで、日高では、どこに蛇紋岩があるのか、かなり詳しく調査されています。たとえば、右の図などがそうです。この図では、色の濃いところが蛇紋岩です。さんごの沢や岡春部川、ペンケユクトラシナイ沢などの上流に、大きく蛇紋岩が分布しています。なお、これらの川の上流には、クロム鉱山や、日高ヒスイの採掘場があったことは、皆さんご存知だと思います。日高近隣に目を向けると、占冠村や平取町の振内などにも蛇紋岩があり、大きな地滑りの地域も多く見受けられます。

日高を含むこれらの地域では、蛇紋岩がたくさんあります。迷惑がられる蛇紋岩ですが、蛇紋岩をよく知ることで、恵みも与えてくれる蛇紋岩が、もっと身近なものになればと思います。

さて、次号の日高山脈博物館だよりは翌年発行になり、干支が変わりますので、このコラムは終了とします。



日高地区の地質図の一例（東・加藤，2012を改変）

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。